

## 総領事館便り2月号

### ★ Dengue 熱等感染症に関する講演会の開催

1月26日、当館主催、東ジャワ・ジャパン・クラブ（EJJC）協力の下、西山利正 関西医科大学教授を講師としてお招きして、Dengue 熱等の感染症に関する講演会を実施しました。西山教授からは、Dengue 熱の症状や媒介する蚊の特徴、防蚊対策として虫除け剤等について御説明をいただきました。

Dengue 熱は、インドネシア国内で年間10万人、東ジャワ州で年間1万人の患者を出す病気で、東ジャワ州では年間100名程度の方が亡くなっています。雨季に発生しやすい病気ですので、会員の皆様におかれましても蚊に刺されないようご注意ください。



### ★ 第19回漢字カップの開催

2月4日、スラバヤ国立大学にて、当館、国際交流基金及びIMCセンター（当地日本語学校）共催「第19回漢字カップ」を開催いたしました。「漢字カップ」は新型コロナウイルス以前から毎年開催されていた、州内外の高校生・大学生を対象に漢字の知識を競う大会ですが、新型コロナウイルスの影響により今年3年ぶりの開催となりました。

大会には州内外からおおよそ170名の高校生・大学生が参加した他、大会のエキシビジョンマッチではSJSより児童・生徒の皆さんにも御参加いただき、見事SJS中学生チームが優勝しました。

また、本年はEJJCを通じて協賛企業の公募を行い、PT. Panasonic Gobel Indonesia 及び PT. OTE Engineering Indonesia の日系企業2社より、協賛品の御提供をいただきました。これら協賛品は同大会の初級レベル優勝者・準優勝者と中級レベル優勝者・準優勝者に景品として贈呈いたしました。改めて、協賛の御協力に感謝申し上げます。

当館では、東ジャワ州における日本語教育推進のため、「漢字カップ」の他、昨年12月に開催した「東ジャワ日本語プレゼンテーション大会」等の日本語関連行事を開催しております。東ジャワ州内の6大学に日本語学科がある他、州内のいくつかの高

校（SMA）や高等専門学校（SMK）でも日本語の授業があり、留学やインターン制度を通じて渡日を希望する生徒・学生が非常に多いです。東ジャワ州の日本語学習者応援のための関連行事は来年度以降も開催する予定であるところ、会員の皆様におかれましても、是非関心を持って見守っていただけますと幸いです。



(了)